

解剖訓蒙骨論

二



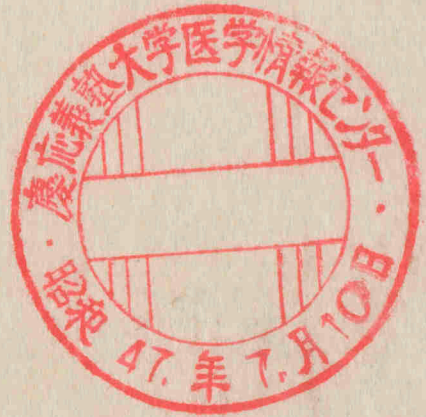
國立中央圖書館

10005

10005

491.1
Ka-2
2

No. 779



富士川文庫

2429

解剖訓蒙卷之二

米利堅 解剖學教頭約瑟列第著

日本 文部少教授松村矩明譯

骨論

軀幹

軀幹トクハ其部、骨骼中ニ於テ、脊椎柱、肋骨、胸骨、

及ヒ膀胱ヨリ、造構セシ所、稱ニシテ、上端ハ、頸

軸ヲ爲シ、下部ハ、次第ニ胸膛、及ヒ腰軸ヲ爲シ、最

下ハ、尻骨盤ヲ爲セリ、

脊椎柱

トロンキユス

脊椎柱

身ヲ支柱スル樞軸ナリ其造構ハ三十三片ノ兩側匹同骨ヨリ疊成セル者ニシテ每片ヲ椎骨ルラト稱ス其中ニ真假ノ二様アリ上方ノ二十四片ハ真椎ニシテ下方ノ九片ハ假椎ナリ脊椎柱ノ前部ハ半圓形ノ一連ヨリ成リ每片ノ間ニ纖維軟骨ヲ挾メリ後部ハ弓彎ノ一連ヨリ成リ弓上種種ノ突起アリ或ハ相互ノ關節スル所或ハ筋ノ羈附スル所ナリ就中後方ノ中央ニ在ル突起ハ最長シテ刺棘ノ如シ故ニ全脊椎ヲ目シ

甲 コロムナ、ヴェルテ、ブラス
全 スパイナル、コロム
全 コロムナ、ドルシー
乙 スポンドル
全 スポンドル

甲 スピナ

棘

イ、ハト稱ス、
真椎骨

真椎骨

十四片上ヨリ下ニ漸次ニ増大シ終ニ末片ニ至リ薦骨上ニ安乗ス蓋シ軀幹ヲ貫通スルニ於テ其處ニ從ヒ之ヲ分テ三部トス曰頸椎骨曰背椎骨曰腰椎骨是ナリ此每椎ニ於テ每片各體弓七突起ヲ有ス

體

骨ノ前部ニシテ其形半圓柱ヲ横斷セ

丙 セントリウム
全 コルピエス、ヴェルテ、ブラス

ラメルホヲ成ス、神經、血管ノ道路ナリ、
 ラメンヲ成ス、神經、血管ノ道路ナリ、
 體部、其造構ハ、一塊ノ海綿質ニシテ、緻密質ノ薄
 層、其外表ヲ覆ヒ、巨大ナル數多ノ滋養孔、之ヲ穿
 貫セリ、殊ニ後面ノ中央ニ於テ、著明ナル二孔アリ
 リテ、海綿質ヨリ椎骨竇ニ通セル、靜脈ノ道路ヲ
 爲ス、

弓部、及ヒ諸突起ハ、強剛ヲ要スルヲ、體部ヨリモ
 多シトス、故ニ其質ノ緻密ナルヲ、迥ニ超過セリ、
 以上辨説スル所ハ、真椎骨ノ形態ナリ、然レモ、頸
 背、腰ノ三部ニ從テ、各、變易スルヲ以テ、各別ニ説

甲
 乙
 丙
 丁
 戊
 己
 庚
 辛
 壬
 癸

カサルヲ得ス、且ツ一部上ニ於テモ、其諸片ノ形
 態一定セス、何トナレハ、各部隣接スル所ノ二片
 ニ於テハ、外貌、互ニ多少類似シ、且又大ニ異狀ヲ
 爲シ、其特務ニ適セシ者、即チ頸椎ノ第一片、第二
 片ノ如キアルヲ以テナリ、

頸椎

頸椎

セ
 ル
 ヲ
 ヲ
 ク
 ル
 ハ
 七
 片
 ニ
 シ
 テ
 頸
 部
 ノ
 樞
 軸
 ヲ
 爲
 ス

シ、頭顱ヨリ胸膛ニ至ル、其尤モ區別シ易キ明證
 ハ、横突起ニ於ケル大孔ナリ、
 體ハ、横經廣シテ、其形式、始片ヨリ末片マテ、漸次

二増大ス上面ハ横經ニ四陷シテ、左右ノ兩縁隆
 起シ、下面ハ、縦經ニ稍ヤ四陷シテ、前後ノ兩縁展
 延ス、斯ク上下ノ陷面相違ヘルニ由テ、每體互ニ
 啣合ス、故ニ此部ノ諸片ハ、他部ノ諸片ヨリモ短
 小ナレト、脱臼ノ患無キナリ、
 弓ハ、其幅狭シ、然レ他部ニ在ル者ニ比スレハ緩
 祐ナリ、髓孔ハ、圓隅ノ三角ニシテ、亦他部ヨリモ
 大ナリ、椎間截ハ、其上下共ニ深淺殆ト同等ナリ、
 棘狀突起ハ、短小ニシテ、末端分歧ス、横突起モ亦
 タ短小ニシテ、前後ヨリ起リ、其后方ハ、弓帶ヨリ

甲
 アトランシコ、
 アスタラガリユス

生シテ、背椎ノ横突起ニ齊ク其前方ハ、肋骨ニ擬
 似セリ、此前後ノ間ニ、細骨アリテ互ニ聯結シ、乃
 チ一孔ト爲ル、此孔、上方ノ六片ニ於テハ、脊椎動
 脈ノ通路ナリ、
 關節突起ハ、上方ニ在ル者ハ、其面、后上方ニ傾キ、
 下方ニ在ル者ハ、其面、前下方ニ傾ク、
 以上頸椎ニ於テ辨説スル所ハ、殊ニ第三片ヨリ
 第六片マテニ適當シテ、其餘ノ三片ハ、亦特異ノ
 模式ヲ有ス、故ニ以下ニ各説ス、
 第一頸椎ハ、頭顱ヲ戴クヲ以テ、
 甲
 タラス
 神ノ名
 ナリ、頭

上ニ地球ト名ク其式ハ不正ナル環狀ニシテ他
 フ戴ク片ヨリモ廣大ナリ環内ニ横鞞帶アリテ乃チ二
 部ニ分ル其前部ハ狹シテ第二片ノ齒狀突起ヲ
 藏シ以テ樞機ヲ爲シ其后部ハ即チ髓孔ニシテ
 脊髓ヲ納ル
 前部即チ體ノ存スヘキ所ハ横梁ナリ前面ハ結
 節ヲ有シ後面ハ平滑ナル關節面ニテ第二片ノ
 齒狀突起ニ联接ス
 弓ハ圓形ヲ爲シ棘狀突起ハ微ニシテ小結節ノ
 如ク横突起ハ他片ニ比スレハ長展シテ尖端ニ

圓結節ヲ有ス
 上關節突起ハ前内方ニ長經ナル橢圓ノ凹陷面
 ニシテ内方ニ傾向シ以テ枕骨髁ニ聯關シ即チ
 頭顱俯仰ノ運動ヲ司下關節突起ハ稍ヤ凹陷
 セル橢圓面ニシテ下内方ニ向ケリ
 關節突起ノ所在スル部ハ尤モ厚且大ニシテ頭
 顱ノ重壓ヲ承載スルニ適シ殊ニ下關節突起ノ
 内方ニ向ヲ以テ彼ノ重力ヲ第二片ノ體ニ及シ
 漸次ニ下椎ノ體ニ傳フ
 上下關節突起間ノ内方ニ於テ小結節アリ横鞞

甲
ダルト、ブラ、デシタタ
エヒストロロウス

乙
プロセツシユス、ヲド
ントイテユス
全
プロセツシユス、デン
タクユス

帶、茲ニ羈附シテ、齒狀突起ヲ放脱セサラシム、
椎間截ハ、關節突起ノ后方ニ在リ、其下截間ハ、淺
小ナリ、上截間ハ、外方ニ至リ、溝ト成リ、横突起孔
ニ相連リ、脊椎動脈ヲ通シテ、枕骨孔ニ入ラシム、
此截間、或ハ上ニ骨梁アリテ、孔ト爲ルコトアリ、
第二頸椎ハ、樞軸ヲ有シテ、頭顱及ヒ第一片ヲ廻
轉セシム、故ニ亦タ樞軸骨シアスキト名ク、
體ハ、其上面ニ於テ、前方ノ中央隆起シ、隨テ上方
ニ延長シ、即チ齒狀突起ヲド、プロセツシユス、造為スル
ニ至ル、此突起ノ形式ハ、尖圓ニシテ、是レ「アタラ

ハ環中ニ入ル者ナリ、其前面ハ、平滑ニシテ、横梁
ニ接シ、后面ハ、横鞞帶ニ向ヒ、頂上及ヒ側方ハ、凹
陷シテ、頭ノ廻轉ヲ限制スル鞞帶ヲ附着ス、
弓ハ、他片ニ比スレハ、強大ナリ、棘狀突起モ、殊ニ
強大ニシテ、其側面凹陷シ、下面深溝ヲ有シ、末端
分岐ハ、横突起ハ、尤モ短小ニシテ、其孔、始ハ上關
節突起ノ下方ニ上行シ、頓ニ外后方ニ曲穿ス、
上關節突起ハ、橢圓ニシテ、稍ヤ凸出シ、斜ニ體側
及ヒ弓帶ノ上ニ位ス、此突起ハ、頭ノ廻轉運動ノ
畫界ニシテ、乃チ齒狀突起ハ、其中心ナリ、

上椎間截ハ微ニシテ無キカ如シ下椎間截及ヒ
其所在ノ近部ハ他片ニ類同ス
第七椎ハ背椎ノ形態ニ類似シ且ツ棘狀突起長
ク其末端分歧セシテ結節ニ終ルヲ以テ尤モ
明著ナリ

背椎

甲
ウ
ル
テ
フ
ス
ト
ル
サ
ル
ス
ト
ラ
シ
ク
ウ
エ
ル
テ
フ
ラ

背椎ドルサルウハ十二片ニシテ胸膛ノ樞軸ヲ

為シ頸ヨリ腰ニ至ル其區別シ易キ明證ハ肋骨
ニ接セル關節面ナリ

體ハ他部ノ體ニ比スレハ其形式愈半圓柱ニ類

似シ上下ノ二面扁平ニシテ其幅第一片ヨリ第

三片マテハ漸次ニ减小シ第四片ヨリ第五片マ

テハ殆ト齊等ナリ爾後末片ニ至ルマテ漸次ニ

増大ス

弓ハ頸部ノ者ヨリモ短小ニシテ強剛ナリ髓孔

ハ殆ト正圓ニシテ頸腰兩部ノ者ヨリモ狹小ナ

リ

椎間截ハ每片共ニ上截間ハ淺シテ下截間ハ尤

深シ

棘狀突起ハ細シテ長ク三稜形ヲ為シ末端ニ結

節アリ其方向ハ、十二片上ニ於テ始ハ後下方ニ傾キ、次第ニ急傾シテ、終ハ下方ニ傾ク、居多ナリ、横突起ハ、強剛ニシテ長ク、末端太キ、結節ヲ有ス、其方向モ、亦夕外方ニ傾クヨリ始リテ、漸次ニ後方ニ傾クニ終ル、關節突起ハ、毎片共ニ殆ト鉛直ニシテ、其上方ノ突起ハ、后方ニ向キ、下方ノ突起ハ、前方ニ向ケリ、

肋骨ト接セル關節面ハ、體ニ於テハ、兩側ノ縁ノ上下ニ在テ、共ニ半窩ニシテ、隣體ノ同名面ト相合シテ、一窩ヲ成シ、肋骨頭ト聯關ス、横突起ニ於

テハ、末端ノ前面ニ在テ、肋骨ノ結節ニ聯關ス、第一片、及テ第十一、十二片ノ體ハ、全完ナル關節面ヲ有シテ、共ニ同第ノ肋骨頭ヲ承ク、

腰椎

腰推^甲 ロンバ ルゴ ハ、五片ニシテ、腰部ノ樞軸ヲ爲シ、

胸腔ヨリ尻骨盤ニ至ル、真椎骨中ノ最巨大ナルト、且ツ横突起ノ孔無キト、且ツ肋骨ヲ受ルノ關節面無キヲ以テ、容易ニ區別スルヲ得ルヘシ、

體ハ、其式、橢圓ニシテ、横經ニ長シ、末片ニ至ルニ

甲
ウ
ル
テ
ラ
ス
バ
ル
ゴ
ハ

隨ヒ漸次ニ増大セリ上下二面ノ景況ハ扁平ニ
 シテ背椎ニ於ルカ如シ弓ハ強且廣ニシテ亦漸
 次ニ増大ス
 髓孔ハ巨大ニシテ三角形ヲ爲シ椎間截モ亦夕
 巨大ニシテ上下殆ト同等ナリ
 棘狀突起ハ強固ナル直板ニシテ、后方ニ突出シ、
 末端厚キ結節ヲ爲セリ、
 横突起ハ細小ニシテ、外方ニ向キ、中片ニ至リ、漸
 ク延長シ、末片ニ至リ、漸ク短縮ス蓋是レ肋骨ニ
 擬似スル者ニシテ、真ノ横突起ニ非ス、但夕上關

甲
 ヲテラス、ヒユリヤ

節突起ヨリ突出セル結節ハ背椎ノ横突起ニ適
 當ス、
 上下關節突起ハ、每片共ニ鉛直ニシテ、上突起ハ
 相對シ、下突起ハ相背シ此裝式ニ因テ、每片固ク
 啣合ス、故ニ胸膈ニ於ケル如ク、側方ノ支點ヲ具
 セサレ、其關節ヲ保全スルヲ得タリ、

假椎

假椎ルテハ、育初ノ時ニ於テハ、其造構九

片ヨリ層疊セルヲ、畢竟真椎ニ於ケルカ如シ然
 レ、盛育スルニ及テハ、上方ノ五片ハ、生着シテ

即チ薦骨ト爲リ、下方ノ四片ハ、生着シテ即チ尾
骶骨ト爲ル、故ニ假椎ト稱スナリ、

薦骨

薦骨^甲 サクハ、其式、三角形ニシテ、斜ニ後下方ニ向

キ、胯骨間ニ挿入シテ、尻骨盤ノ後部ヲ造成ス其

基礎ハ、上方ニシテ、腰椎ノ末片ヲ載セ、其尖端ハ、

下方ニシテ、尾骶骨ニ連ル、

全態ハ、前方ニ彎曲シ、前面ハ、廣キ平滑ナル凹面

ナリ、後面ハ、錯雜不正ナル、細狹ノ凸面ナリ、其曲

度、及ヒ丈幅ニ至テハ、各人、及ヒ男女ニ於テ同シ

甲
ヲス、サクロム
全
ヲス、ラチユム
全
ヱルテ、ヲス、マクナ

カヲス、然レ、凡、男ハ曲度尤強ク、且ツ幅經ニ比ス

レハ、丈經ノ優ルヲ通則トス、

全態上ニテハ、一骨ナル凡、正ニ五片ノ椎骨ナリ、

唯、毎片ノ微發ナルト、一箇ニ生合セルトヲ以テ、

明亮ニ分別シ得サルノミ、

前面ニ於テ、體部タル可キ際上ニ、四條ノ横線アリ、

以テ、育初ノ時ニハ、其五箇タリシヲ徵ス可シ

其第一部ハ、橢圓ナル關節面ヲ有シテ、終末ノ腰

椎ノ體ニ联接ス、第五部モ、亦タ橢圓ナル小キ關

節面ヲ有シテ、尾骶骨ノ第一片ニ連合ス、

甲カナリス、サクラリス

後面ハ、每片ノ弓部諸突起ノ、生合セシヨリ成レ
 リ、蓋シ第五弓ハ、不全ニシテ、后方開披ス、或ハ第
 三第四弓モ、亦然ルヲアルナリ甲髓管サクラリスハ、
 其形、三角ニシテ、真椎ノ髓管ニ繼續シ、漸次ニ下
 方ニ至リ狭小シ、即チ第五弓ノ不全ヨリ成レル、
 截間ニ終ル

乙ホラメン、サクラリス

前後ノ二面、共ニ兩旁ニ於テ、歴然タル四孔アリ、
 薦骨孔ホラメント稱ス、薦骨管ニ交通ス、是レ真
 椎ニ在テハ、即チ椎間孔ナリ、亦漸次ニ、下方ニ至
 リ細小シ、都テ薦骨神經、及ヒ血管ヲ通ス、蓋シ其

前面ニ在ル者ハ、最大ニシテ、外方ニ延テ、溝ヲ成
 セリ、

棘狀突起モ、亦漸次ニ下方ニ至リ减小ス、上方ノ
 三片ニ在ル者ハ、結節ノ形ヲ爲シ、中間ニ起線ヲ
 有シテ、共ニ連結シ、第四片ニ在ル者ハ、分裂シテ
 二結節ト爲リ、亦起線ヲ有シテ、上片ノ結節ニ連
 結ス、

基礎ニ於テ、腰椎ニ接セル關節突起ハ、其面、縦凹
 ニシテ、后内方ニ向キ、其両間ハ、廣キ截間ニシテ、
 黄靱帯ノ末對、爰ニ羈附ス、他ノ關節突起ハ、微育

ニシテ區別シ難ク、唯々後薦骨孔ノ内側ヲ限界
セリ、

薦骨翼甲 グスハ、全態ノ側部ニシテ、肋骨及ヒ背椎

ノ横突起ニ等シ、唯々每片一箇ニ生合シテ廣キ
關節面ヲ成スニ至リ、以テ膀胱骨ニ聯關ス其下方
ハ、鈍縁ニシテ、薦坐鞞帶、茲ニ附着シ、后方ハ、粗疎
面ニシテ、薦腸鞞帶、茲ニ附着ス、

尾骶骨

尾骶骨乙 キスハ、薦骨ノ下端ニ位シ、前下方ニ彎曲
セル、四片ニシテ、真椎骨ニ等シ、蓋シ斯ク片數ヲ

甲 アラトヤシラリア

乙 フス、コツシジス
全 カウダル、グウルテブラ

定ムレ氏、生着ノ模様ニ由テ、變易アリトス、
件ノ四片モ、亦薦骨ノ如ク、漸次ニ减小シ、且ツ發
育不全ニシテ、愈、椎骨ノ形式ヲ失ス其第一片ハ、
壓平セル體ヲ有シ、上下ニ橢圓ナル、關節面アリ
テ、上方ハ薦骨、下方ハ第二片ニ聯關ス兩旁ニ横
突起アリテ、屢、薦骨ノ縁ト生着シ、第五薦骨孔ヲ
造ルニ至ル體后ノ兩旁ニ於テ、又短突起アリ、是
レ真椎ノ弓帶ニ同シトス、

餘ノ三骨モ、亦漸次ニ减小シ、唯扁平ノ體ヲ有ス
ルノ三、蓋シ此數片ハ、卑下ナル獸畜ノ尾骶骨ニ

類似セルモノナリ、

肋骨リッポウハ、其數十二對ナリ、即チ左右ヲ合背推ヨ

リ起テ、胸骨ニ至リ、其形式、軀幹ノ兩側ニ於テ一

連シ、乃チ細弓ノ層級スルニ似タリ、前端ハ、肋軟

骨リッポウニ連リ、是ニ因テ延長シ、其上方ノ

七對ハ、胸骨ニ附着ス、故ニ真肋ト稱ス、

稱ス、下方ノ五對ハ、胸骨ニ附着セス、故ニ假肋ト

於テ、會結シテ一箇ト爲リ、而テ終ノ、真肋ノ軟骨

甲
コスター
プレウラ

乙
カルキレ
ジ子ス、
スタリユム

丙
コスター、
ウエラー
コスター、
ゲノイナ
コスター、
スヒユリア
コスター、
ソンドサイ

甲
コスター、
フリユクチ
ユエンテス

ニ附着ス、下方ノ二對ハ、前端羈附スル所ナリ、故

ニ又浮肋ト稱ス、

每骨ノ全徑ハ、第一肋ヨリ第八肋マテ、漸次ニ添

長シ、其次肋ヨリ季肋マテ、漸次ニ減短シ、幅經及

ヒ曲度ハ、第一肋ヨリ季肋マテ、漸次ニ狭小、緩裕

ニ方向ハ、始メ推骨ノ體ヨリ外后方ニ進メ、椎骨

ノ横突起ニ至リ、爰ニ於テ、外方ト稍ヤ前方トニ

向キ、其后チ頓ニ前内方ニ曲ル、且ツ兼テ椎骨ヲ

離ル、下方ニ傾クヲ以テ、每肋繆轉シ、右端ヨリ

モ前端低下セリ、故ニ全徑水平ニ附着セサルベ

甲カヒチユリユムゴスター

乙セルウエキス
全コルリユム

丙チユベルキユリユム

シ、
内外ノ二面ハ、每肋各扁平ニシテ滑澤ナリ上縁
ハ鈍了シ、下縁ハ鋭削ニシテ内側ニ一溝アリ、殆
ト全徑ニ渡ル、是レ肋間動脈ノ通路ナリ、
骨ノ后端ヲ**肋頭**ト稱シ、關節面ヲ有ス、其中間
起線アリ、乃チ二面ト爲リ、背椎ノ二體ニ相联接
ス頭ノ次部ヲ**肋頸**ト稱シ、狹隘セリ、其外方ニ
結節ト稱ス、ケルアリテ、之ヲ限界ス、結節ノ上面ハ、肋
頭ニ聯關セル、二椎中ノ下椎ノ横突起ニ、連合ス
ル關節面ナリ、**結節**ノ外方ニ於テ、著キ疎粗部ア

甲エンギユリユム
乙ニヒユス、ゴスター

リ**角**ト稱ス、即チ所謂、頓ニ前内方ニ、曲向ス
ル所ナリ、此角ト結節トノ距離ハ、第一肋ヨリ季
肋マテ、漸次ニ遠隔ス
前端ハ、尤モ壓平ナル部ニシテ、上縁下縁共ニ鈍
了シ、端面ニ橢圓ノ小窩ヲ有シ、肋軟骨ニ連合ス、
之ヲ浸漬シテ、軟骨ヲ除去スレハ、其小窩乃チ見
ユ、
内外二面ノ方向ハ、每骨ノ層級セル形狀ニ從ヘ
ハ、其外面ハ、即チ胸膛ノ外部ヲ爲シ、内面ハ、即チ
内部ヲ爲ス、

甲
カルチレジ子ス、コ
スタリユム

以上ハ諸肋ノ總論ナリ、爰ニ又數肋ノ異容ナル者アリ、第一肋ハ、繆轉セズ、且ツ其面ハ、上下ニ向キ、其縁ハ、内外ニ存シテ共ニ薄シ、而テ上面ハ、前部ニ於テ、鎖骨下血管ノ小壓痕ヲ有シ、骨頭ノ關節面、唯夕一箇ナリ、第十一肋、第十二肋ハ、共ニ發育微弱ナリ、骨頭ノ關節面、亦唯夕一箇ニシテ、結節ヲ具セズ、
 肋軟骨ルコスタル、カハ、全徑、第一肋ヨリ第七肋マテ漸次ニ長進シ、其次肋ヨリ季肋マテ、漸次ニ短退ス方向ハ、第一肋ハ下行シ、其次ハ地平ニ、其他

甲
ステルノン
ラス、ペクトリス
ラス、シフタイテス

ハ下方ニ至ルニ從ヒ、漸ク上行シ、乃チ胸骨ニ會轉ス、
 外端ハ、全ク肋骨ノ組織ニ連合ス、内端ハ、真肋ニ於テハ、第一對ヲ除ク、他、皆チ胸骨ノ外側ニ直達シテ運動ヲ爲ス、次ノ三對ハ、相連結シテ、終末ノ真肋ノ軟骨ニ附着ス、下ノ二對ハ、尖銳ニシテ、羈附スル所ナキナリ、

胸骨

胸骨レステルニユ、シ、斜ニ下前方ニ垂ル、其式長且廣ニシテ、殆ト扁
 胸骨ノ前面ノ中線ニ位

平ナリ、故ニ昔時ノ劍ニ似タルヲ以テ、手鞆刀身
 尖端ノ三片ニ分ツ前面ハ稍ヤ凸出シ、后面ハ亦
 稍ヤ凹入シ、其質ハ頗ル輕久且ツ鬆疎ニシテ、海
 綿ノ如シ、唯外表ノ薄層、稍ヤ緻密ナルノミ、
 手鞆ハ、即チ第一片ニシテ骨中ノ廣且厚キ部ナ
 リ、其式略ホ方形ニシテ、前面稍ヤ凸出シ、后面亦
 稍ヤ凹入シ上縁ハ、尤モ廣厚ニシテ、横徑ニ凹陷
 シ、其兩隅ニ於テ、深窩アリ、以テ鎖骨ト關節ト下
 縁ハ、細狭ニシテ、第二片ニ联接ス兩側縁ハ、下内
 方ニ屈曲シテ、共ニ二窩ヲ有シ、其上窩ハ全面ニ

シテ第一肋軟骨ニ連リ、下窩ハ半面ニシテ、第二
 肋軟骨ノ一部ニ接ス、

刀身ハ、即チ第二片ニシテ最長久、骨中ノ體部ヲ

為ス中間ハ廣久、兩端ハ狭久、前后ノ二面ハ、殆ト
 扁平ニシテ、數箇ノ横紋ヲ有シ、元ト數片ヨリ造
 成セシヲ徵ス側縁ハ、左右共ニ、逐次ニ六箇ノ關
 節窩ヲ有シ、其兩端ノ二窩ハ、半面ニシテ、上ノ者
 ハ、第二肋軟骨ノ一部ヲ承ケ、下ノ者ハ、第七肋軟
 骨ノ一部ヲ承久、

尖端ハ、即チ第三片ニシテ、骨中ノ尤モ細小、且ツ

甲
カ
ル
チ
レ
バ
ゴ
シ
ル
ミ
ス

軟薄ナル部ナリ其形式一定セス或ハ扁圓或ハ分裂或ハ舌ノ如ク或ハ扁平尖長ニシテ劍端ノ如キヲ以テ劍狀軟骨カ
ル
チ
レ
バ
ゴ
シ
ル
ミ
スト稱ス側縁ニ於テ半窩アリ以テ第七肋軟骨ノ一部ニ聯接ス蓋シ生后數年ヲ經テ硬化シ始メ耆老ニ至ルモ尚ホ全化スルハ稀ナリ

胛骨

乙
フ
サ
ハ
イ
ン
ノ
ミ
ナ
タ
全
フ
サ
ア
ノ
ニ
マ
全
フ
サ
ア
ノ
ニ
マ
全
フ
サ
ア
ノ
ニ
マ

一名無名骨ヒ
ツ
プ
ボト稱スハ軀幹骨中ニ算入スレモ元ト下肢ニ屬スル者ナレハ其關係タル猶肩胛骨ノ上肢ニ於ケル如シ然レモ薦

甲
フ
ス
イ
リ
ユ
ム
全
フ
サ
イ
レ

乙
ホ
ツ
サ
イ
リ
ア
カ

骨ト會合シテ尻骨盤ヲ造爲シ生殖器ト泌尿器ト營養器ノ一部等トヲ藏ムルヲ以テ此篇ニ列舉ス此骨嬰兒ニ在テハ三箇ニ分カル故ニ今從テ三部ト爲シ辨説ノ便ニ供ス曰腸骨坐骨耻骨是ナリ

腸骨イ
リ
ユ
ムハ廣厚ナル大板ニシテ胛骨ノ上部ヲ造爲シ内面ニ於テ前後下ノ三面ヲ有ス前面ハ

腸骨窩イ
リ
ア
カト稱シ滑澤ニシテ廣淺ニ凹入ス后面ハ凸凹不正ニシテ半ハ薦骨ニ聯合シ半ハ

鞞帶ヲ附着ス下面ハ尻盤内ノ一部ヲ造爲シ狹

甲
リニア、ペクチ子
全
クヌス、タイリク、ペクチ子

ユビツキ、エ
ミ子シス
シテ、下方ニ在リ一ハ鈍圓ニシテ、前方ニ在リ、耻
骨棘ヨリ、外方ニ延ヒテ、髌臼ニ達ス一ハ尤モ銳
削ニシテ、耻線耻線ニシテ、ペクチ子ニ一ト稱シ、亦タ耻骨棘ヨ
リ起テ、腸耻隆起ノ内側ニ達シ、起端ニ於テ、ケン
ベルト、ハ鞅帶ヲ附着ス、

下行枝ダスセムスハ、細小ニシテ、内外二面、共

ニ扁平ナリ、外下方ニ進テ、坐骨枝ニ連合ス、

以上ハ、胯骨ノ三部ナリ、此三部湊合セル所ノ外

方ニ於テ、蓋狀ノ大四陷アリ、髌臼アシテムト稱

乙
コテール
全
コチロイド、カ、ジテール

甲
ホラン、ホクチ、ホクチ、ホクチ
全
ホラメン、ラ、ヴェール

ス、以テ腿骨ノ頭ヲ承ク其内面ハ、略ホ滑澤ニシ
テ、軟骨ヲ被包シ、周縁ハ、隆起シテ明白ニ限界ス
内方ニ於テ、缺刻シテ深キ截間ヲ爲シ、白底又タ
不正ナル凹窩ト爲リ、乃チ截間ニ通ス蓋シ此大
臼ヲ造爲スルハ、耻骨其五分ノ一ニシテ、腸坐ノ
二骨、共ニ其五分ノ二十ナリ、

髌臼ノ前方、耻坐二骨ノ間ニ於テ、大孔アリ、纖維

膜之ヲ閉鎖ス、故ニ鎖孔ホクチノユラトト稱ス其

式長圓ニシテ、稍ヤ三角形ヲ呈ス、殊ニ婦人ニ於

テ、尤モ然リトス、

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

解剖訓蒙卷之二終

